CATEYE STRADA CADENCE
CYCLOCOMPUTER CC-RD200

日本語

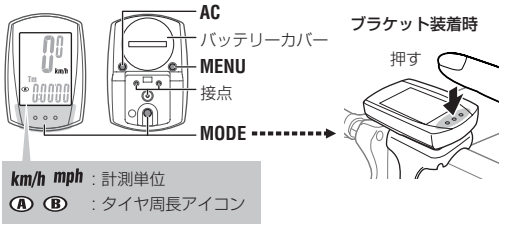
U.S. Pat. Nos. 5236759/6957926 Pat./Design Pat. Pending
Copyright© 2007 CATEYE Co., Ltd.
CCRD20-070727 06660520 4

ご使用の前に必ず本書を最後までお読みください。
お読みになった後はいつでも見れるように大切に保管してください。

⚠ 警告・注意

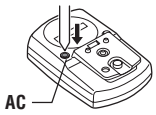
- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- マグネット、センサー及びブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないかを定期的に点検してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットに装着した状態で**MODE**を押すときはコンピュータ表面のドット部周辺を押してください。他の部分を強く押すと誤作動や損傷の原因となります。
- 金属板の上にコンピュータを置かないでください。接点が導通し電池が消耗します。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めるので使わないでください。
- 使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

コンピュータの準備



1 オールクリア（初期化）します

裏面の **AC** ボタンを押します。



2 計測単位を選択します

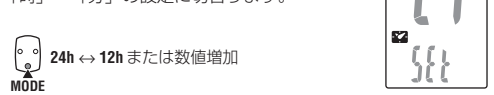
「***km/h***」または「***mph***」を選択します。

3 タイヤ周長を入力します

自転車のタイヤ外周の長さをmm単位で入力します。
※ タイヤ周長ガイドをご活用ください。

4 時刻を入力します

MODE を長押しするごとに「表示時間」→「時」→「分」の設定に切替ります。

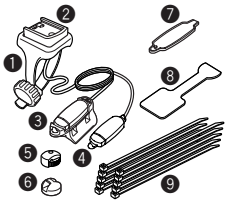


タイヤ周長ガイド

タイヤサイズ	L (mm)
12 x 1.75	935
14 x 1.50	1020
14 x 1.75	1055
16 x 1.50	1185
16 x 1.75	1195
18 x 1.50	1340
18 x 1.75	1350
20 x 1.75	1515
20 x 1-3/8	1615
22 x 1-3/8	1770
22 x 1-1/2	1785
24 x 1	1753
24 x 3/4 Tubular	1785
24 x 1-1/8	1795
24 x 1-1/4	1905
24 x 1.75	1890
24 x 2.00	1925
24 x 2.125	1965
26 x 7/8	1920
26 x 1(59)	1913
26 x 1(65)	1952
26 x 1.25	1953
26 x 1-1/8	1970
26 x 1-3/8	2068
26 x 1-1/2	2100
26 x 1.40	2005
26 x 1.50	2010
26 x 1.75	2023
26 x 1.95	2050
26 x 2.00	2055
26 x 2.10	2068
26 x 2.125	2070
26 x 2.35	2083
26 x 3.00	2170
27 x 1	2145
27 x 1-1/8	2155
27 x 1-1/4	2161
27 x 1-3/8	2169
650 x 20C	1938
650 x 23C	1944
650 x 35A	2090
650 x 38A	2125
650 x 38B	2105
700 x 18C	2070
700 x 19C	2080
700 x 20C	2086
700 x 23C	**2096**
700 x 25C	2105
700 x 28C	2136
700 x 30C	2146
700 x 32C	2155
700C Tubular	2130
700 x 35C	2168
700 x 38C	2180
700 x 40C	2200
29 x 2.1	2288
29 x 2.3	2326

自転車のタイヤ周長(L)を実測して求めます。
タイヤの空気圧を適正にし、タイヤ接地面にペンキ等で印を付けて乗車します。タイヤを1回転させ、路面に付いた印の間隔を測ります。目安として周長ガイドを活用してください。

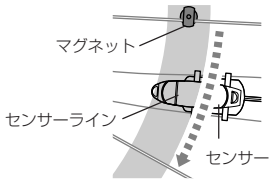
自転車への取付け方法



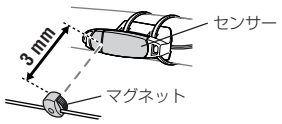
❶ブラケットバンド
❷ブラケット
❸スピードセンサー
❹ケイデンスセンサー
❺ホイールマグネット
❻ケイデンスマグネット
❼センサーゴムパッド
❽ブラケットゴムパッド
❾ナイロンタイ（10本）

各センサーとマグネットは次の条件を満たす位置に取付けます

Ⓐ マグネットがセンサーのセンサーラインを通過する。

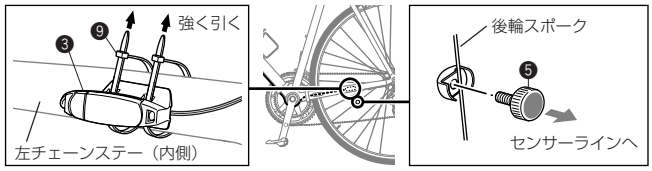


Ⓑ センサー表面と、マグネットの隙間が必ず3 mm 以内である。

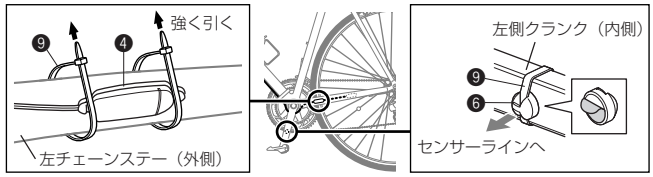


※ ケイデンスセンサー❹は、必要に応じてセンサーにセンサーゴムパッド❼を重ねて取付けます。

1 スピードセンサーとホイールマグネットを取付けます



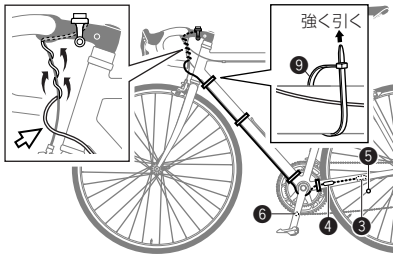
2 ケイデンスセンサーとケイデンスマグネットを取付けます



3 コードを配線します

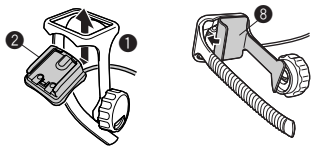
コードはナイロンタイ❾で要所をフレームに固定し、ブレーキケーブルに巻付けてハンドルまで配線します。

⚠注意
➪ 部分は、ハンドルを回したときにコードが引っ張られないように調節します。



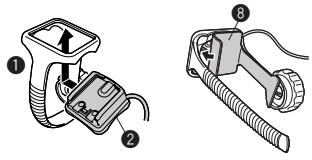
4 ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付けます

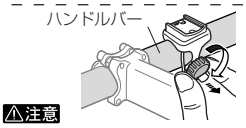
ステムに取付ける場合



⚠注意
コードがステムに挟まらないように締付けます。

ハンドルバーに取付ける場合





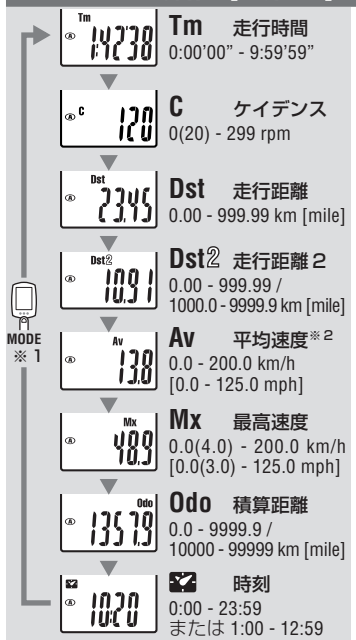
⚠注意
コードがハンドルバーに挟まらないように締付けます。

5 コンピュータの着脱

⚠注意
切口でケガをしないように処理してください。

※ 取付後、スピードセンサーとケイデンスセンサーの動作テストをします。
スピードセンサーは、後輪を浮かせてタイヤを軽く回し、速度が表示されることを確認します。
ケイデンスセンサーは、**MODE** を数回押して下段にケイデンス（**C**）を表示させ、クランクを逆回転させて数値が表示されることを確認します。
表示されないときは Ⓐ と Ⓑ の位置関係が正しいか確認してください。

コンピュータの操作　[計測画面]



Tm　走行時間
0:00'00" - 9:59'59"

C　ケイデンス
0(20) - 299 rpm

Dst　走行距離
0.00 - 999.99 km [mile]

Dst②　走行距離２
0.00 - 999.99 /
1000.0 - 9999.9 km [mile]

Av　平均速度※2
0.0 - 200.0 km/h
[0.0 - 125.0 mph]

Mx　最高速度
0.0(4.0) - 200.0 km/h
[0.0(3.0) - 125.0 mph]

Odo　積算距離
0.0 - 9999.9 /
10000 - 99999 km [mile]

時刻
0:00 - 23:59
または 1:00 - 12:59

※1 ブラケットに装着している場合、コンピュータのドット部を押します。

※2 平均速度は **Tm**:約 27 時間または **Dst**: 999.99 km を越えると計測値に変わり **.E** を表示します。
データのリセットを行ってください。

計測のスタート・ストップ
自転車の動きに合わせて自動で計測をおこないます。計測中は ***km/h*** または ***mph*** が点滅します。

選択データの切替え
MODE を押すと左図のように計測データが順に切替ります。

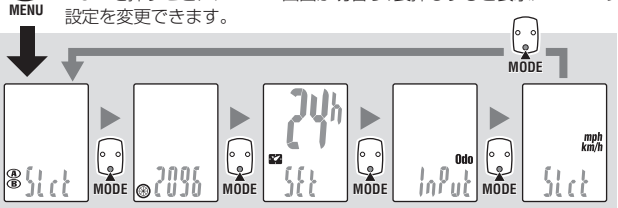
データのリセット
Dst-2 以外のデータを表示して、**MODE** を長押しすると、計測データが 0 に戻ります。**Dst-2** を表示して、**MODE** を長押しすると、**Dst-2** だけが 0 に戻ります。
いずれの場合も積算距離はリセットされません。

節電機能
約 1 時間信号が入らないと時刻表示だけの節電モードになります。センサー信号が入るか **MODE** を押すと計測画面に戻ります。

コンピュータの設定変更　[メニュー画面]

MENU

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面へ移行します。
MODEを押すごとにメニュー画面が切替り、長押しすると表示メニューの設定を変更できます。



設定変更（長押し）
MODE

※ 変更後は、必ず **MENU** を押し、確定します。
※ 1 分間放置すると計測画面に戻ります。

周長切替え ..... セットされているタイヤ周長（外周サイズ）Ⓐ・Ⓑ を切替えます。2台の自転車でコンピュータを共有する場合にご使用ください。
MODE で Ⓐ または Ⓑ に切替えます。

タイヤ周長入力..... **MODE** で数値が増加し、長押しで桁移動します。
※ タイヤ周長 Ⓑ に入力する場合は、「周長切替え」で Ⓑ に切替えてから行ってください。

時刻設定 ..... 設定方法は、「コンピュータの準備 -4」をご覧ください。

積算距離手入力..... コンピュータを再設定する場合、事前に積算距離をメモすることで再設定後、積算距離を手入力できます。
MODE で数値が増加し、長押しで桁移動します。

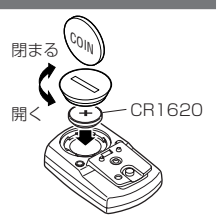
計測単位 ..... **MODE** で ***km/h*** または ***mph*** に切替えます。

メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

電池の交換

表示が薄くなってきたら電池の交換時期です。
新しいリチウム電池（CR1620）を（+）側が上面に見えるように挿入します。交換後は「コンピュータの準備」の手順に従い、コンピュータを再設定してください。



トラブルシューティング

ブラケットに装着すると MODE が機能しない。
ブラケットとコンピュータの間に異物が詰まっていませんか？
ブラケットを水で洗い流し正しく動作するよう手入れしてください。

速度（ケイデンス）が出ない。(表示を見ながらコンピュータの 2 つの接点を金属片で数回ショートさせます。これで数値が表示されるとコンピュータは正常です)
センサーとマグネットの間隔が離れすぎていませんか？
(間隔 3mm 以内)
マグネットはセンサーラインを通過していますか？
マグネット・センサーの位置を調節し直してください。

コンピュータやブラケットの接点に異物が付着していませんか？
接点をきれいにしてください。

*コードが断線していませんか？外観上、異常がなくても断線している場合があります。*ブラケットセンサーセットを新しいものと交換してください。

全く表示が出ない。
電池が消耗していませんか?
新しい電池に交換してください。交換後は「コンピュータの準備」に従い、再設定を行ってください。

異常な表示がでる。
「コンピュータの準備」の手順に従い、コンピュータを再設定してください。

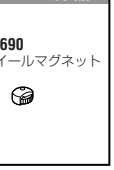
製品仕様

使用電池 ..... リチウム電池（CR1620）× 1
電池寿命 ..... 約２年（1 日 1 時間使用時、使用環境により異なる）
制御方式 ..... 4- bit 1- chip マイクロコンピュータ（水晶発振器）
表示方式 ..... 液晶表示
検知方式 ..... 無接触磁気センサー
タイヤ周長範囲 ..... 0100 mm ～ 3999 mm（初期値 A:2096 mm B: 2096 mm ）
使用温度範囲 ..... 0 ℃～ 40 ℃（動作保証範囲:範囲外は表示の視認性が悪化します）
寸法・重量 ..... 46.5 x 31 x 15 mm / 18 g

※ あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。
※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

標準部品

オプション部品



製品保証について

2 年間保証：コンピュータのみ（付属品及び電池の消耗は除く）
正常な使用状態で故障した場合は無料修理・交換いたします。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況を明記の上、ご購入日が記述されたレシートまたは領収書を添えて当社宛てに直接お送りください。レシートまたは領収書がない場合、保証期間は製造年月日から起算させて頂きます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途･方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

[宛先]
株式会社 キャットアイ
製品サービス課
〒546-0041
大阪市東住吉区桑津２丁目８番 25 号
TEL:
(06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX:
(06)6719-6033
ホームページ:
http://www.cateye.co.jp
E メール:
support@cateye.co.jp